

## 永井川カフェが大船渡に義援金

多彩な企画で月に一度村民同士が交流する「愉快的幸せカフェ永井川」(代表世話人・佐藤俊雄さん/草野)が、3月11日に「いちご狩り」を実施しました。当日は22人が参加し、相馬市の和田観光いちご園でイチゴを味わい、交流を楽しみました。また、会の中で岩手県大船渡市の山林火災に対して「義援金を募ろう」という声が上がリ、参加者が出し合った約1万6,000円を、同日、飯館村社会福祉協議会を通じて被災地に寄附しました。



## 菓子工房Cocittoがオープン!

飯館村地域おこし協力隊の高橋洋介さんが営む『菓子工房Cocitto』が、プレオープン期間を終えて、4月1日にグランドオープンを迎えました。村の農産品を使った焼き菓子やケーキが人気です。花見のお供に、お友達への手土産に、あるいは自分へのご褒美に。ぜひ一度お立ち寄りください。

菓子工房Cocitto 飯館村草野字大師堂65

営 午前11時～午後6時 休 日曜日・月曜日

☎ 080-5416-3764

※営業時間がプレオープン時と異なりますのでご注意ください。



## 明治大学本所ゼミが活動報告

3月6日、交流センター「ふれ愛館」で、明治大学農学部「本所ゼミ」の『「人・農・食・いたて」未来へつなぐ事業』報告会が行われました。本所ゼミは、生産者・飲食店・食品メーカー・商業施設などとネットワークを築きながら、マルシェ出店・PR・メニュー開発・販路開拓などを精力的に実践しています。報告会では、ゼミ生のアイデアとやる気に満ちた活動の軌跡が紹介され、開発メニューの1つ「いたて雪っ娘」カボチャ入りお好み焼きの試食も行われました。



## 『福島もも娘 from Taiwan』が来庁し村内での活動拡大を報告

株式会社サクラ・シスターズ(上飯樋)がプロデュースするパフォーマンス・ユニット『福島もも娘from Taiwan』。歌とダンスで飯館村や福島県を盛り上げ、地域の魅力を台湾へも発信しています。今年度は村内での活動を拡大し、同社に隣接する古民家から、新たにSNSの配信なども行う予定。スタートを前に、3月10日、全6人のメンバーのうち5人が、同社の峯岸ちひろ社長と共に村役場を訪れ、飯館村の印象や今後の活動について、杉岡村長と懇談しました。



◀ 村民が製作する木工細工の牛を贈られ、どれにしようかと楽しみに選ぶメンバー。今後の詳しい情報は右のQRコードから。



## 深谷行政区 貴重な太鼓を修繕

深谷行政区が太鼓の張替えと修繕を行いました。元の太鼓は大正元年に、今では貴重な“センノキ”の巨木で作られたもので、綿津見神社の例大祭や、地元の神社の例祭・新年ご祈禱などで鳴らされ、100年以上大切に使われてきました。修繕を終えた太鼓は3月16日に行政区総会でお披露目され、住民の皆さんから感動と喜びの声が上がりました。



上) 修繕前 左) 修繕後  
下) 総会でのお披露目



## 日赤飯館分区で新車両が活躍中

令和6年8月26日、濱田幸政さん(草野)からの寄附を受け、1台の災害救援車(日産セレナ)が日本赤十字社福島県支部飯館村分区(事務局:飯館村社会福祉協議会)に配備されました。この車両は、災害救護装備の充実を目的に配備されたもので、地域の災害対応や救援物資の配達、災害時の被災者救援対策の他、赤十字事業の充実と推進を図るためにも活用されます。現在は村民の送迎支援にも活躍しているそうです。

